

制度方針(案)に対する意見交換について

1. 修正事項

- ・当面のスケジュール【12ページ】の学校運営方針の承認の年度については、平成31年度からに修正します。

2. 意見書の記載事項

- ・コミュニティ・スクールの趣旨や必要性を広く周知し、子どもたちのために「地域とともにある学校」づくりを推進していくこと。
- ・地域協議会の推進については、地域コミュニティの醸成、及び地域福祉の推進に併せてコミュニティ・スクールの趣旨も含めて設立、及び活動の充実に努めていくこと。

3. 意見交換の論点

(1) 学校運営協議会の権限【2ページ】 ※参考資料1

①教職員の任用

■主な意見

- ・教職員の人事に関する意見が出た場合の対処が難しい。
- ・教職員の任用に関する権限については、慎重に検討する必要がある。

(2) 学校運営協議会の委員構成と設置【8ページ】

①委員の人数

■主な意見

- ・応時中のコミュニティー連絡会は、地域の関係者など、約30名で構成されている。
- ・委員人数については、増員するなどの検討が必要。

(3) 学校運営協議会の開催等

①開催回数、開催時期、参加者

②事務局、及びコーディネーター等のサポート体制

■主な意見

- ・学校運営協議会は、年何回開催するのか、何月に開催するのか、また、大人だけで話し合うのか、5回のうち1回は、中学生も参加するなど少し明確にしたガイドラインのようなものがあると分かりやすい。
- ・事務局を誰がやるのか、体制を検討することが必要。
- ・ファシリテーターやコーディネーターなどのサポーターが必要。

■その他関連する意見

- ・地域と学校のコミュニケーションの場になるといい。
- ・今、学校に関わっている人たちの組織づくりも必要。

(4) 財政支援【11ページ】 ※参考資料2

① コミュニティ・スクール活動支援交付金

■ 主な意見

- ・ 学校運営協議会がPTAや区などと連携して事業を実施していくのか、また、その費用はどうなるのか。

(5) 特徴(小学校と中学校の基本姿勢)【8ページ】

① 中学校と地域協議会の連携

(6) 既存の組織や活動との整理・すみ分け ※参考資料3

■ 主な意見

- ・ 中学校と小学校区単位の地域協議会が具体的にどう連携していくのか。
- ・ 中学生は、経験の中で自分の存在感を見出していくことに大きな意味がある。
- ・ 学校側のニーズと地域のニーズを把握して一方的にならないよう双方向の協力が必要。
- ・ いろんな集まりの場があって、同じ人が集まっているので精選が必要。
- ・ これまでの歴史の中で幾つかの団体や活動があるので調整、すみ分けが必要。
- ・ 今の活動を整理していけるといい。

■ その他関連する意見

- ・ 篠岡中学校の事例紹介
- ・ 不登校、いじめ、生徒指導に関するテーマで活動している中学校区単位の青少年健全育成会と中学校の連携・位置づけをどうしていくのか。
- ・ 応時中のコミュニティー連絡会とどう連携していくのか。
- ・ 篠岡小学校区地域協議会のクリスマス会の事例紹介